

BeSeTo

日本・中国・韓国 国際演劇祭

演劇祭 新潟

2016年10月1日(土) ~ 15日(土)

Sat 1 October – Sat 15 October 2016

会場

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 (スタジオB、劇場、能楽堂)

At RYUTOPIA Niigata City Performing Arts Center

公演

陝西人民藝術劇院 [中国・陝西省]

『かごの鳥の青春-當青春不再懷念蝴蝶的傷』

10月1日(土) 17:00開演、10月2日(日) 15:00開演

Noism0 [日本・新潟]

『愛と精霊の家』

10月7日(金) 19:00開演

劇団旅行者 [韓国・ソウル]

『ジャングルブック』

10月8日(土) 14:00開演、18:00開演

鳥の劇場 [日本・鳥取] × **劇団ティダ** [韓国・江原道]

『詩の教室』

10月14日(金) 19:00開演、10月15日(土) 14:00開演

シンポジウム


21世紀の国際交流と劇場文化

中島 諒人 (演出家/鳥の劇場芸術監督)

志賀 亮史 (演出家/百景社主宰)

金森 穰 (演出振付家・舞踊家/りゅーとぴあ舞踊部門芸術監督/Noism芸術監督)

10月15日(土) 16:30-18:30

主催：BeSeTo演劇祭新潟開催実行委員会、日本BeSeTo委員会 助成：平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業 文化庁
実行委員会構成団体：

新潟日報社、BSN新潟放送、創るつながるプロジェクト、新潟古町えんとつシアター、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団、
公益財団法人新潟市国際交流協会、新潟市文化・スポーツコミッション、公益財団法人新潟観光コンベンション協会、新潟市
後援：駐新潟大韓民国総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県高等学校演劇協議会、
朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、N S T、
TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、
ラジオチャット・エフエム新津

What's BeSeTo?

日本・中国・韓国の政府首脳が一堂に会することがまだなかった1994年、3カ国の芸術家＝韓国の金義卿氏、中国の徐曉鐘氏、日本の鈴木忠志氏の決断によって創設された〈BeSeTo演劇祭〉は、先駆的な事業として驚きと注目を集めました。

BeSeToは、北京 (Beijing)、ソウル (Seoul)、東京 (Tokyo) の頭文字をとって名づけられ、94年から韓国・日本・中国の順に持ち回りで開催。相互の文化の違いを認識しつつ共同作業を行うことによって、芸術を核とする相互理解を進めるとともに、世界文化への貢献をめざしてきました。その後も、さまざまな政治外交上の曲折のなかにあって、20年以上の長きにわたり継続し、演劇祭という枠組みを超え、いまや東アジアを代表する国際文化交流事業のひとつとして重要な位置を担っています。

新潟市で初開催

23回目、日本で8回目の開催となる今年は、鳥取県、利賀村（富山県南砺市）とともに、初の新潟市開催となります。これは、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の舞踊部門芸術監督であり、本市文化創造アドバイザーを務める金森穰氏が2014年に本演劇祭の国際委員に就任し、また、同日本委員会が鳥取、富山、新潟の連携による環日本海地域の国際協働と発信を新しい活動の柱として加えることを決めたことによるものです。それは、文化の東京集中からの脱却であり、環日本海三国の交流という古代からの伝統の新しい再生の動きでもあります。

<BeSeTo演劇祭国際委員会>

日本BeSeTo委員会	代表	中島 諒人〔演出家／鳥の劇場芸術監督〕
	委員	金森 穰〔演出振付家・舞踊家／りゅーとぴあ舞踊部門芸術監督／Noism芸術監督〕
	委員	志賀 亮史〔演出家／百景社主宰〕
	委員	重政 良恵〔劇団SCOT制作〕
中国BeSeTo委員会	代表	季 国平〔演劇評論家／中国戯劇家協会 副主席〕
	委員	王 曉鷹〔演出家／中国戯劇家協会 副主席／中国国家話劇院 副院長〕
	委員	崔 偉〔演劇評論家／中国戯劇家協会 秘書長〕
	委員	李 華芸〔中国戯劇家協会 国際部主任〕
韓国BeSeTo委員会	代表	ヤン・ジョンウン〔演出家／劇団旅行者代表／ソウル芸術大学教授〕
	委員	ユン・ハンソル〔演出家／グリーンピグ代表／檀国大学教授〕
	委員	ソン・ギウン〔劇作家・演出家／第12言語演劇スタジオ代表〕
	委員	イ・ヒジン〔プロデューサー／プロデューサー・グループDOT〕

現在、国際社会はあらゆる文脈において実に多くの困難を抱えています。しかしこのような時代にあるからこそ私たちは、互いの差異によって豊穡となり、互いの類型によって普遍性を感得することを可能にする、身体表現による文化交流を実現するべきではないでしょうか。身体表現は、現代社会が加速度的に失いつつある「人間とは何か」という問いを社会に投げかけます。

ネット空間における映像や文字情報、すなわち何処かの誰かが発信している、偏狭な視覚情報に翻弄されることなく、目の前の他者と時間と空間を共有し、全身体によるコミュニケーションを交わすこと。そこには忍耐力、洞察力、そして豊かな感性といった人間の精神に深く関わる要素が必要となります。

本演劇祭が国際交流事業という枠を超え、「人間とは何か」という人類普遍の問いを通じ、21世紀社会における劇場文化の意義及び、身体表現の可能性を開示することを願っています。

第23回 BeSeTo演劇祭 新潟
アーティストックディレクター
金森 穰



photo: Kishin Shinoyama

かなもり じょう
金森 穰

演出振付家、舞踊家。りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。NDT2在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で活躍後、帰国。2004年、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。14年より新潟市文化創造アドバイザー。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

[中国・陝西省]

陝西人民藝術劇院

Shaanxi People's Art Theatre

『かごの鳥の青春－當青春不再懷念蝴蝶的傷』

The Butterfly Lovers

リ ヨウリン
脚本・演出：李 耀林

10月1日(土) 17:00開演 ※終演後アフタートークあり

10月2日(日) 15:00開演

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館<スタジオB>

<中国語上演(日本語字幕付)>



中国では古くから誰もが知っている「リョウザンバク シュクエイダイ梁山泊と祝英台」は、「ロミオとジュリエット」のような悲しい恋物語。これを若い俳優たちが、現代風にアレンジしています。大掛かりなセットを使わずに簡単な小道具とパントマイムで空間を表現し、生演奏やライブドローイングも織り交ぜながら、物語を繊細に描いていきます。若く純粋な登場人物たちは、私たちに人生の意味を問いかけ、純愛への憧れを呼び起こさせます。

陝西人民藝術劇院

創立以来、160本余りの大規模作品の制作を行い、公演回数は6,000回を超え、観客数は延べ420万人に達している。大規模作品ばかりでなく、小規模作品の上演にも力を入れており、「毎週現代劇、毎月新作劇」という目標を実現、幅広く市民に作品観劇の機会を提供してきた。また地域の特色を織り込んだ演劇文化の確立にも貢献している。

[日本・新潟]

Noism0

『愛と精霊の家』

The House of Spirit

演出振付：金森 穰／美術：須長 檀／衣裳：中嶋 佑一／映像：遠藤 龍／照明：伊藤 雅一(RYU)、
金森 穰／舞台監督：尾崎 聡／出演：井関 佐和子、山田 勇気、小尻 健太、奥野 晃士、金森 穰／
原案：シアンの家（初演：2012年9月1日 高知県立美術館）

10月7日（金） 19:00開演 ※終演後アフタートークあり

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館<劇場>



Noism0『愛と精霊の家』 photo: Kishin Shinoyama

金森 穰と井関 佐和子によるプライベートユニットunit-Cyanが2012年に発表した『シアンの家』を基に、人類普遍のテーマ、永遠のテーマである愛と死を描く。1人の俳優（奥野）と3人の舞踊家（山田／小尻／金森）は男の愛の多面性を、人形・舞踊家・妻・母になれぬ女を演じる舞踊家（井関）は、女の愛の孤独を象徴する。4人の男と女の4役はシ（死）のメタファーとして作品に通底していく。果たして死んでいるのは男か女か。終わり無き始まりと、始まり無き終わりの輪廻の中で、永劫回帰を繰り返す男と女の魂は、夢幻の境を彷徨いながら、愛を求めて1人さすらう。

Noism0

「水と土の芸術祭2015」でパフォーマンスディレクターをつとめたNoism*の芸術監督 金森 穰が立ち上げたプロジェクト。一夜限りの公演として『愛と精霊の家』を上演し、好評を博した。舞踊に限らず、演劇、音楽、美術等それぞれのジャンルで専門的経験を積み、卓越した活動を展開している芸術家が集うプロジェクトとして不定期で公演を行う。

*Noism

演出振付家・舞踊家の金森 穰がりゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の舞踊部門芸術監督に就任したことにより2004年に設立した日本初の劇場専属舞踊団。プロフェッショナルカンパニーNoism1と研修生カンパニーNoism2で構成され、新潟から世界を見据えたカンパニー活動と、舞踊家たちの圧倒的な身体によって生み出される作品は、国内外で高い評価を得ている。www.noism.jp

[韓国・ソウル]

劇団旅行者

Yohangza Theatre Company

『ジャングルブック』

The Jungle Book

原作：R. キップリング

演出：イ・デウン

10月8日(土) 14:00開演

18:00開演 ※終演後アフタートークあり

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館<スタジオB>

<韓国語上演(日本語字幕付)>



「ジャングルブック」はノーベル賞作家キップリングが約100年前に書いた短編童話集。狼に育てられた少年モーグリのエピソードはディズニーによってアニメ化されています。本上演は、そこでは描かれなかった「ジャングルブック」の別の面白さを見せてくれます。観客を巻き込む5人の俳優によるアンサンブルは、“ジャングル”のようにエネルギーに満ちています。

劇団旅行者

1997年設立。俳優たちの身体の祝祭性、東洋的な音楽、衣装と舞台美術を融合させた、韓国的な“美”を基本にしたスタイルの作品は、国内をはじめ海外でも高く評価されている。2006年には、韓国の劇団としては初めてロンドンのバービカン・シアターに招待された。カイロ国際実験演劇祭大賞、グダニスク国際シェイクスピアフェスティバル大賞（ポーランド）などを受賞。

[日韓共同制作]

鳥の劇場×劇団ティダ

Collaborative Performance by BIRD Theatre Company TOTTORI from Japan and Performance Group TUIDA from Korea

『詩の教室』

Classroom of Poem

構成・演出：ベ・ヨソプ、中島 諒人

10月14日(金) 19:00開演 ※終演後アフタートークあり

10月15日(土) 14:00開演

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館<スタジオB>

<日韓2か国語上演(翻訳字幕付)>



過去の共同制作作品



『詩の教室』共同制作風景

日本による朝鮮の植民地支配・言葉の抑圧などをテーマに、詩を切り口にして太平洋戦争とその前後の状況を見つめます。両劇団の俳優、演出家が、個人史や学んだこと、教えられてきたことを共有することから作業を開始し、日本の戦争体験者へのインタビューや広島訪問なども行って、時代への理解をともに深めました。ドキュメンタリー的な過去の時間の再現、想像の場面をコラージュしながら、過去の悲劇を凝視し、共に生きる未来のあり方を模索します。

※台本として「国語の時間」(作：小里 清)を一部引用します。

鳥の劇場

2006年、演出家・中島 諒人を中心に設立。鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった学校と幼稚園を劇場に改造して、演劇活動、劇場運営を行う民間の芸術団体。鳥の劇場という名前は、劇団名でもあり、場の名前でもある。創作活動を中心にすえて県外や海外でも上演をする一方、招聘事業や教育普及事業も併行させ、「公共の場」としての劇場の姿を模索している。

劇団ティダ

2001年、韓国国立芸術大学の卒業生によって設立。カンウォンドウファチョン江原道華川郡の廃校をアトリエに改造し、拠点として創作活動を行う劇団。海外のカンパニーとの協同作業や教育普及事業を積極的に行い、華川郡の文化活動にも深く関わっている。道化劇を取り入れ、人形劇、仮面劇、音楽の融合を図る「韓国的かつコスモポリタンである」スタイルは、海外でも高い評価を得ている。

21世紀の国際交流と劇場文化

10月15日(土) 16:30-18:30

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 <能楽堂>

入場無料・要申込

鳥取・茨城・新潟を拠点にそれぞれ集団を率いて活動し、日本BeSeTo委員会の国際委員を務めるとともに、本演劇祭での上演作品の演出も手掛けた3名の演出家が、BeSeTo演劇祭における日中韓の国際交流、そして21世紀の劇場文化について話し合います。

【登壇者】

なかしま まこと
中島 諒人

演出家/鳥の劇場芸術監督



photo:IKEMOTO Yoshimi

しが あきふみ
志賀 亮史

演出家/百景社主宰



かなもり じょう
金森 穰

演出振付家・舞踊家/りゅーとぴあ舞踊部門芸術監督/Noism芸術監督



photo: Kishin Shinoyama

【申込方法】

受付開始日：8月13日(土) より、先着順

受付方法：新潟市役所コールセンター（午前8時～午後9時）

Tel 025-243-4894

チケット情報

【発売日】

8月11日(木・祝)

【料金】

- ・中国・韓国・日韓共同制作作品 一般3,000円 U25 (25歳以下) 2,400円
- ・Noism0 一般5,000円 U25 (25歳以下) 4,000円
- ・セット券 2作品以上の同時購入については、セット券として各公演定価より500円の割引になります。(U25は適用外・取扱いはりゅーとぴあのみ)

【取扱い】

りゅーとぴあ（窓口・電話・オンライン）

- ・チケット専用ダイヤル Tel 025-224-5521 (11:00-19:00、休館日を除く)
- ・オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

チケットぴあ (Pコード：453-272)

- ・Tel 0570-02-9999
- ・PC & Mobile <http://t.pia.jp/>

会場アクセス

■海外からお越しの場合

ソウル（仁川国際空港）、上海（浦東）、ハルビンから新潟空港へ直行便が運行されています。

■県外からお越しの場合

- ・電車 東京駅→新潟駅 上越新幹線で2時間
- ・飛行機 各都市から新潟空港へ直行便が運航されています。
札幌（新千歳空港）、成田（成田空港）、大阪（伊丹空港）、名古屋（中部空港・小牧空港）、福岡（福岡空港）、沖縄（那覇空港）
※新潟空港から新潟駅へは空港リムジンバス（直行）で25分です。

■自動車でお越しの場合

関越自動車道／磐越自動車道 新潟中央 I.Cより20分

※りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。

【新潟駅からりゅーとぴあまで】

- ・バス（新潟交通） JR新潟駅万代口より萬代橋ライン（BRT）
青山方面行「市役所前」下車徒歩5分
- ・タクシー JR新潟駅万代口より約15分

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

〒951-8132 新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2

<http://www.ryutopia.or.jp/>



第23回 BeSeTo演劇祭 新潟 プレ企画

Noism0『愛と精霊の家』 埼玉公演

8月20日（土） 18:00、21日（日） 15:00 <全2回>

【料金】 ※チケット発売中

一般6,000円 U25（25歳以下）5,000円（全席指定・税込）

【チケット取扱い】

彩の国さいたま芸術劇場チケットセンター（窓口・電話・オンライン）

- ・Tel 0570-064-939（10:00-19:00、休館日を除く）
- ・PC <http://www.saf.or.jp/>
- ・Mobile <http://www.saf.or.jp/mobile/>

チケットぴあ

- ・Tel 0570-02-9999（音声自動認識：Pコード452-595）
- ・PC & Mobile <http://t.pia.jp/>

主催：BeSeTo演劇祭新潟開催実行委員会

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団



本プレスリリースに関するお問い合わせ

BeSeTo演劇祭新潟開催実行委員会事務局（新潟市文化創造推進課内）

Tel 025-226-2554

http://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/bunka_program/beseto_niigata.html